

平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 ホクカンホールディングス株式会社
 コード番号 5902 URL <http://www.hokkanholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 常史
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山崎 節昌
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札

TEL 03-3213-5111

平成29年12月11日

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	63,081	4.9	4,744	28.3	5,388	28.2	3,922	20.3
29年3月期第2四半期	66,322	3.5	6,621	74.0	7,505	71.4	4,921	89.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 3,946百万円 (13.1%) 29年3月期第2四半期 4,543百万円 (158.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	64.36	
29年3月期第2四半期	75.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	133,887	54,785	39.7
29年3月期	127,134	51,068	38.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 53,198百万円 29年3月期 49,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		3.75		3.75	7.50
30年3月期		3.75			
30年3月期(予想)				3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,500	1.2	5,500	26.7	6,500	25.6	4,000	19.8	63.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	67,346,935 株	29年3月期	67,346,935 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	6,394,568 株	29年3月期	6,393,424 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	60,952,890 株	29年3月期2Q	65,069,472 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性は依然あるものの、企業収益は改善しており、また、個人消費も雇用・所得環境の改善を背景に堅調に推移いたしましたため、景気は緩やかな回復を続ける状況となりました。

当第2四半期連結累計期間における清涼飲料業界の状況につきましては、春先の天候不順はありましたものの7月までは概ね全国的に好天に恵まれましたが、8月以降は東日本を中心に記録的な大雨が続いた影響により、清涼飲料業界全体では前年並に推移する結果となりました。

カテゴリー別でみますと、茶系飲料につきましては健康志向の高まりを背景に日本茶等の無糖茶系飲料が好調に推移しましたものの、炭酸飲料につきましては8月以降の天候不順の影響を受けましたため、前年並みの推移となりました。また、その他の清涼飲料（ミネラルウォーターやスポーツドリンク等）では前年を下回る結果となりました。

容器別にみますと、缶製品では、缶コーヒーにおける通常缶とリシール缶（ボトル缶）ともにペットボトルへのシフト等の影響を受けましたため、前年を下回る結果となりました。なお、ペットボトル製品につきましては前年を上回る結果となりました。

食品缶詰業界につきましては、農産缶詰は前年を上回る結果となりましたが、水産缶詰ではカニ・サンマ等を中心に不漁による原料不足のため大幅な減産となり、前年を下回る結果となりましたため、食品缶詰業界全体では、前年を下回る結果となりました。

[容器事業]

(メタル缶)

①飲料缶・食品缶

飲料用スチール空缶につきましては、ホット用として販売を行っていたBT缶（固形物の出易いびれ缶）がコールド商品に採用されるなど好調に推移いたしましたものの、主力の缶コーヒーが、依然として減少傾向に歯止めがかからず、前年を下回る結果となりました。

食品缶詰用空缶につきましては、水産缶詰は原料不足の影響により、前年を下回る結果となり、また、農産缶詰につきましても前年を下回りましたため、食品缶詰用空缶全体においては、前年を下回る結果となりました。

②その他

エアゾール用空缶につきましては、主力の殺虫剤が春先の天候不順の影響により販売が減少しましたものの、燃料ボンベ缶の新規受注等の寄与により前年を上回る結果となりました。

また、美術缶につきましても、ギフト関連製品は前年割れとなりましたものの、新商品の受注等により販売が好調に推移いたしましたため、前年を上回る結果となりました。

(プラスチック容器)

①飲料用ペットボトル

飲料用ペットボトルにつきましては、お客様による内製化の影響により販売が減少しました。また、無菌充填用プリフォーム（ボトル成型前の中間製品）につきましても春先の天候不順の影響を受け販売が減少しましたため、前年を下回る結果となりました。

②食品用ペットボトル

食品用ペットボトルにつきましては、贈答用商品の販売が減少したこと等により、前年を下回る結果となりました。

③その他

一般成形品につきましては、化粧品用や農薬・園芸品用の販売が好調に推移いたしました。また、バッグインボックスにつきましても前年を上回る販売となりましたため、一般成形品全体では前年を上回る結果となりました。

以上の結果、容器事業全体の売上高は20,268百万円（前年同期比6.3%減）となり、営業利益は725百万円（前年同期比63.2%減）となりました。

〔充填事業〕

(缶製品)

缶製品につきましては、リシール缶（ボトル缶）が新ラインの稼働により前年を上回る販売となりましたものの、通常缶の販売が落ち込みましたため缶製品全体では前年を下回る結果となりました。

(ペットボトル製品)

ペットボトル製品につきましては、アセプティック（無菌充填）を含む小型ペットボトル製品は、一部生産ラインのリニューアル工事の影響により、前年を下回る販売となりました。また、アセプティック（無菌充填）を含む大型ペットボトル製品につきましても、ミネラルウォーターの受注が減少したこと等により前年割れとなりましたため、ペットボトル製品全体では前年を下回る結果となりました。

以上の結果、乳製品受託製造販売を営むくじらい乳業株式会社を加えた充填事業全体の売上高は38,678百万円（前年同期比4.3%減）となり、営業利益は4,623百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

〔機械製作事業〕

機械製作事業につきましては、自動車部品生産設備やリチウム電池製造設備の受注等が堅調であり、また、エンジニアリング部門におきましても前年を上回る結果となりましたため、機械製作事業全体の売上高は1,523百万円（前年同期比1.2%増）となり、営業利益は92百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

〔その他〕

インドネシアにおいて、容器（ペットボトル）製造から内容物の充填までを一貫しておこなうPT. HOKKAN INDONESIA（ホッカ・インドネシア社）では、一部のお客様による内製化の影響等により、前年を下回る結果となりました。

また、ベトナムにおいて清涼飲料の受託充填事業を営んでおりますNIHON CANPACK (VIETNAM) CO., LTD.（日本キャンパック・ベトナム社）は、同国における天候不順の影響はありましたものの、新製品受注等が寄与し、前年を上回る結果となりました。

なお、化粧品等製造販売を営む株式会社コスメサイエンスは、新製品受注や新規顧客の獲得等により、前年を上回る結果となりました。

以上の結果、工場内の運搬作業等を行っております株式会社ワーク・サービスを加えたその他全体の売上高は2,611百万円（前年同期比4.9%減）となり、営業損失は118百万円（前年同期は営業利益26百万円）となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間における売上高は63,081百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は4,744百万円（前年同期比28.3%減）、経常利益は5,388百万円（前年同期比28.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,922百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は133,887百万円(前連結会計年度末は127,134百万円)となり6,753百万円の増加となりました。これは現金及び預金が減少(2,325百万円から857百万円へ1,468百万円の減)したものの、受取手形及び売掛金の増加(23,634百万円から30,160百万円へ6,526百万円の増)、電子記録債権の増加(2,838百万円から3,598百万円へ759百万円の増)、有形固定資産の増加(61,431百万円から61,786百万円へ355百万円の増)、流動資産の「その他」に含まれております未収入金の増加(1,522百万円から1,787百万円へ264百万円の増)並びに、商品及び製品が増加(3,815百万円から4,005百万円へ190百万円の増)したことが主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は79,101百万円(前連結会計年度末は76,065百万円)となり3,035百万円の増加となりました。これは流動負債の「その他」に含まれております設備関係未払金が減少(2,347百万円から1,243百万円へ1,104百万円の減)したものの、支払手形及び買掛金の増加(17,766百万円から21,235百万円へ3,468百万円の増)及び借入金が増加(41,337百万円から42,120百万円へ783百万円の増)したことが主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は54,785百万円(前連結会計年度末は51,068百万円)となり3,717百万円の増加となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益3,922百万円を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,325	857
受取手形及び売掛金	23,634	30,160
電子記録債権	2,838	3,598
商品及び製品	3,815	4,005
仕掛品	2,295	2,283
原材料及び貯蔵品	2,600	2,776
繰延税金資産	656	582
その他	2,643	2,661
貸倒引当金	△29	△27
流動資産合計	40,781	46,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,613	22,589
機械装置及び運搬具（純額）	18,924	18,423
土地	15,903	15,887
リース資産（純額）	2,855	2,635
建設仮勘定	584	1,664
その他（純額）	549	585
有形固定資産合計	61,431	61,786
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	21,448	21,302
長期貸付金	183	660
繰延税金資産	9	53
退職給付に係る資産	436	349
その他	2,043	2,073
貸倒引当金	△183	△181
投資その他の資産合計	23,937	24,258
固定資産合計	86,352	86,987
資産合計	127,134	133,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,766	21,235
短期借入金	14,568	22,693
リース債務	444	402
未払法人税等	1,990	1,607
賞与引当金	898	893
その他	7,193	6,485
流動負債合計	42,861	53,317
固定負債		
長期借入金	26,768	19,427
リース債務	1,221	1,105
繰延税金負債	1,233	1,351
退職給付に係る負債	3,067	3,032
その他	913	867
固定負債合計	33,204	25,783
負債合計	76,065	79,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,086	11,086
資本剰余金	11,070	11,070
利益剰余金	24,352	28,047
自己株式	△1,954	△1,954
株主資本合計	44,555	48,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,679	5,657
繰延ヘッジ損益	11	18
為替換算調整勘定	67	38
退職給付に係る調整累計額	△878	△765
その他の包括利益累計額合計	4,879	4,949
非支配株主持分	1,633	1,587
純資産合計	51,068	54,785
負債純資産合計	127,134	133,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	66,322	63,081
売上原価	52,775	51,416
売上総利益	13,547	11,664
販売費及び一般管理費	6,925	6,920
営業利益	6,621	4,744
営業外収益		
受取利息	11	14
受取配当金	175	163
持分法による投資利益	687	376
受取賃貸料	58	57
受取保険金	36	77
その他	179	185
営業外収益合計	1,149	875
営業外費用		
支払利息	178	134
弔慰金	10	30
その他	77	67
営業外費用合計	266	231
経常利益	7,505	5,388
特別利益		
投資有価証券売却益	465	285
関係会社株式売却益	357	-
資産除去債務戻入益	-	121
その他	22	10
特別利益合計	845	417
特別損失		
固定資産除却損	105	160
投資有価証券評価損	-	43
経営統合関連費用	146	5
その他	2	5
特別損失合計	254	213
税金等調整前四半期純利益	8,096	5,592
法人税、住民税及び事業税	2,635	1,579
法人税等調整額	254	125
法人税等合計	2,890	1,705
四半期純利益	5,206	3,887
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	284	△35
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,921	3,922

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	5,206	3,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△238	△63
繰延ヘッジ損益	△0	4
為替換算調整勘定	△565	△40
退職給付に係る調整額	112	110
持分法適用会社に対する持分相当額	28	47
その他の包括利益合計	△663	59
四半期包括利益	4,543	3,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,413	3,992
非支配株主に係る四半期包括利益	129	△45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	容器 事業	充填 事業	機械製作 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,634	40,436	1,505	63,576	2,745	66,322	—	66,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,891	—	841	3,732	775	4,507	△4,507	—
計	24,525	40,436	2,346	67,309	3,520	70,830	△4,507	66,322
セグメント利益	1,970	5,075	96	7,142	26	7,168	△546	6,621

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、工場内運搬作業等の請負事業及び化粧品等製造販売事業であります。

2 セグメント利益の調整額△546百万円には、セグメント間取引消去105百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△652百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	容器 事業	充填 事業	機械製作 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,268	38,678	1,523	60,470	2,611	63,081	—	63,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,887	—	1,411	4,298	786	5,085	△5,085	—
計	23,156	38,678	2,934	64,769	3,398	68,167	△5,085	63,081
セグメント利益又は損失(△)	725	4,623	92	5,441	△118	5,322	△577	4,744

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、工場内運搬作業等の請負事業及び化粧品等製造販売事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△577百万円には、セグメント間取引消去96百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△674百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。